



クク…無駄な足掻きなどやめて
大人しく我の奴隷となるが良い、
それが貴様に定められた運命よ。

ん…
は、離してください…っ
でないと…この…ッ！
ん…

ん…

ぬ…

ん…

どうだ、胎^{ハラ}が甘く疼いて
抗う気など失せるであらう。

な、なに…甘い、香り…っ？
…ッ、身体が、熱く…ッ♡

どれ、少しばかり
素直にさせてやろう。

♡ 発情

とほま…

!?

ク…

ぬ…

ん…

ん…

人間、快楽に狂う前に
よく見ておくが良い。

期待の目を向けているそれは
永遠の交わりで貴様の魂を
墮とす絶対の主となるモノだ。

さあ、卑しき肉欲に身を任せ
その胎に我を受け入れよ。

いいや、です…ッ、こんな、
気持ち悪い、だけで…っ！
そんなの、いらな…っ！

クク：力の抜けた身体で湿らせた胎穴を突き出す人間が何を口にしたとて契りの懇願でしかないわ。



何を言う、貴様の胎は
主を受け入れて悦びに
打ち震えておるわ。

そんな、一気に……っ！
いや、ぬっ……抜いて……っ



おお…よく締まりよく滑る。
見立て通り、我が眷属を孕むに
相応しい極上の胎具合よ。

お、奥まで、届いて…ッ♥
な、なんでっ、わたしいや…っ♥
こんなのが、気持ち、い…ッ！♥

そうだ、そのまま流されれば良い。
快楽の渦に飲まれ我が奴隷となる
運命を受け入れるのだ。



催眠

はあ♡

はあ♡

はえ...っ?

あ、れ...?

そうだ、貴様という人間は
魂までもが我のモノなのだ。

わ、わたし...貴方の花嫁...ッ?
あれッそう、でしたっけ...ッ?

こ、こんなことにわたしは
屈したり、し、しません...っ♡
奴隷なんて、絶対...っ!!♡

何を言う、貴様は長年我の奴隷と
して忠実にその身を捧げてきた
ではないか、もはや花嫁も同然よ。

まん♡

まん♡

ぬ♡

ぬ♡

そのまま身体を食られる快楽に
身を任せよ、我への忠誠と愛を
再び胎に刻み込むのだ。

わ、わかりません、わかりませんッ！
でも、お腹を突かれるたびに愛らしい
気持ちが大きくなってる……ッ！

良いぞ、貴様が奴隷であると
身体が思い出して来たな。

さっきまでと全然、違……ッ！
おっお腹つきゅんきゅんって、
止まらないです……ッ！

あッ

あッ

あッ

あッ

良いか、今から貴様の胎に種を注ぐ。
己が我のモノである事を強く意識し、
吐き出される全てを受け止めよ。

わかりました、わ、わたし……っ♡
貴方にお腹どちゅどちゅ独占されてっ♡
なかだしで、イク、イキます……っ♡

出して、下さい……っ!♡
わたしの一番奥っ、貴方の
射精、いっぱい、ください……っ!





どうだ、主に抱かれる幸福と
我への忠誠心をその身を以て
思い出したであろう？

は、はい…っ♡
わたしは、貴方、の…っ♡

お…♡
おく、まだ、でてます…っ♡
貴方の精液、ぜんぶ…っ！♡

お…♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡



では貴様という存在が
全うすべき責務はなんだ、
もちろん言えるな？

あーん

魅了

排卵

はい…わたしは、わたしの…
身体…おっぱい、子宮は…

貴方が使うことでしか
意味がないもので…

わたし、貴方の奴隷として
たくさんのおっぱいを
産む義務があるんです…



そうだ、しかし貴様の魂と心は殻に
守られまだ完全には我のモノと
なっていないのだ。

これではいくら交わろうと
我の眷属を孕む事は叶わぬ、
どうすべきかはわかるな？

は、はいッわたしという存在が
完全に貴方に堕ち切るまでつ
ずっとえっち、続けますッ！

わたし頑張って堕ちますからっ
心も魂も尊厳も貴方のモノに
なる努力しますからあつ♡

良い心がけだ、我も貴様の
忠誠心にはしっかりと
応えてやらねばならんな。

あ

クッ

あ

おっ

あ

あ

あ

喜べ、貴様の心と魂は完全に
我のモノとなり、我の眷属を
孕む器として完成に至ったのだ。

あは

はあー

はあ

はあ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

嬉しいですっわたしっ貴方の赤ちゃん
たくさん産める身体になったんですねっ
産みますっわたしっママになりますっ

だからっ、マシユのこともっと
気持ちよくして下さいっ

全部受け止めますからッ
もっとお腹にドクドクって注いで
たくさん孕ませて下さいッ！



はっ

はっ

はっ

あっ

ご主人様の赤ちゃん、
また産まれそう、です…

そうかそうか、身体の状態も良い、
今回も元気に産まれてくれそうだ。

貴様のお陰で眷属の数も
順調に増えておるわ、
礼を言うぞ愛しき奴隷よ。

えへへ…
嬉しいです…

ぐっ

ぐっ



























